

第7回 うらりカップ城ヶ島ヨットレース 帆走指示書 (SI : Sailing Instructions)

本帆走指示書の略語表記の意味

[DP] : その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する。RRS 第2章以外の軽微な規則違反またはプロテスト委員会を納得させる事由がある規則違反も該当する。

[SP] : レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは規則 63.1、A5 及び A10 を変更している

1. 適用規則

本大会公示、帆走指示書、『セーリング競技規則 2025-2028 (RRS)』に定義された規則、外洋特別規定 2024-2025 付則 B インショアレース用特別規定および OSR 国内規定を適用する。

2. 選手とのコミュニケーション

2.1 オンライン公式掲示板

公式掲示板(WEB) : <https://www.jsaf.or.jp/misaki/2025/index.html#ura>

2.2 レース本部設置場所

所在地 : うらり 2 階 (研修室)、神奈川県三浦市三崎 5-3-1

期間 : 2025 年 11 月 8 日(土) 07:30~11 月 8 日(土) 17:00

但し、レースの状況により、設置期間が短くなる場合がある。

2.3 連絡先

電話番号 : 090-2341-3140

メールアドレス : urari-cup@misaki-ocean.jp

2.4 競技者へのレース前通告は 11 月 8 日(土)08:30 までは、公式掲示板(WEB)にて行う。

2.5 通告を海上で行う場合は、本部船に L 旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。

尚、本部船の詳細は、本 SI20 項に記載する。

3. [SP]レース旗

参加艇は、レース中艇後部の目立つ位置にうらり旗と下記クラス識別リボンを掲揚すること。

参加経歴のある艇は、お手元のうらり旗を使用のこと。

初参加艇には、うらり旗を予め艇責任者宛に郵送する。

当うらり旗は、次年度以降も継続使用するため、各艇にて保管のこと。

本規定に違反した艇は、1分をレース所要時間に加算する。

クラス識別リボン

A と B の 2 クラスに分け、クラス旗は以下の識別リボンとする。

クラス	識別リボン
A クラス	: イエロー
B クラス	: ピンク

* 識別リボンは、艇責任者に郵送する。

4. 陸上で発せられる信号

レース運営に関する信号は陸上のレース本部では発しない。

5. [DP]行動規範

競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

6. レースコース

コース1 : スタート ⇒ 網代崎沖灯浮標(通称赤白ブイ)(反時計回り) ⇒ 城ヶ島南西沖
浮漁礁ブイ(反時計回り) ⇒ フィニッシュ (約 16NM)

コース2 : スタート ⇒ 城ヶ島南西沖浮漁礁ブイ(反時計回り) ⇒ フィニッシュ
(約 10NM)

スタートおよびフィニッシュ位置

35°07.7'N、 139°38.7'E 付近 (城ヶ島東端安房埼から約 100°約 0.7NM 付近)

コースを示す数字旗は、SI7 のチェックインを示す L 旗と同時に掲揚される。

レースコース 1 の場合には、数字旗 1 を掲揚。

レースコース 2 の場合には、数字旗 2 を掲揚。

レース中は、三崎港内(三崎と城ヶ島の間)の航行を禁止する。

7. [SP]チェックイン

参加艇は09:40までにL旗を掲揚した本部船後方から本部船をスターボードにみて通過し、セールナンバーを掲示し、艇名・乗員数を告げ、個人用ライフジャケットの着用の確認を受けること。

チェックインは参加艇としてレース委員会側との安全確保による、重要確認事項である。
本規定に違反した艇は、1分をレース所要時間に加算する。

8. スタート

スタート予告信号 09:55

レース開始を艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前(09:50以前)に音響1声とともにオレンジ旗を掲揚する。

スタートはRRS26に従う。

予告信号(5分前) うらり旗(黄色)の掲揚と音響信号1声

準備信号(4分前) P旗(もしくはI旗)掲揚と音響信号1声

1分信号(1分前) P旗(もしくはI旗)の降下と音響信号(長音)1声

スタート(0分) うらり旗(黄色)の降下と音響信号1声

9. スタート

9.1 スタートライン

スターボード・エンドとなる本部船のオレンジ旗を掲げたポールと、ポート・エンドとなるマーク(黄色の円筒型ブイ)の間とする。

9.2 スタート信号後20分以内にスタートしなかった艇はDNSとする。

(RRS A5.1 と A5.2 の変更)

9.3 クラス分けした場合も全艇同時スタートする。

10. リコール

リコール艇があった場合、RRS 29.1 により音響信号(1声)と共にX旗が掲揚する。

補助的にその艇のセール番号又は艇名をラウド・スピーカーまたは国際VHF/72chで通知することがある。

但し、この通知が遅れたり聞こえなかったりしても、救済の対象にはならない。(通知はサービスであり、レース委員会の義務ではない。復帰は各艇の責任)

X旗は、リコール艇が完全に復帰したら降下する。

但し、スタート信号後4分を経過したら、リコール艇が復帰しなくても降下する。

11. ゼネラルリコール

ゼネラルリコールの場合、RRS 29.2 により、音響信号(2 声)と共に第一代表旗を掲揚する。
新しいスタートの予告信号は、音響信号(1 声)と共に第一代表旗降下の 1 分後に発する。

12. フィニッシュライン

青旗を掲げた本部船のポールと、フィニッシュマーク（黄色の円筒型ブイ）の間とする。
本部船はホバリングしている場合がある。

運営艇に M 旗を掲揚してフィニッシュマークの代替とする場合がある。

13. コース短縮

コース短縮の場合のフィニッシュラインは RRS32.2(a)に従い、回航マークと運営艇又は
本部船の S 旗を掲げたポールとの間とする。

尚、クラス別によるコース短縮は行わない。

14. レース・タイム・リミット

レース・タイム・リミットは 1 5 : 0 0 とする。

このタイムリミット内にフィニッシュしなかった艇は、DNF とする。

(RRS 35、A5.1 と A5.2 の変更)

15. 審問要求

15.1 抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該艇に対して伝える(赤色旗の掲揚を含む)と共にフィニッシュ時にその意思と相手艇名を本部船 (コース短縮の場合は S 旗を掲揚した運営船)に告げ、自艇のフィニッシュ後 1 時間以内に所定の審問要求書をレース本部にメールにて提出すること。提出はメール送信或いは持参のいずれでも構わない。
尚、プロテスト委員会は、もっともな理由がある場合には、その時刻を延長する場合もある。

リタイア艇については、本部船への伝達は省略することを許され、リタイア後 1 時間以内に審問要求書をレース本部に提出するものとする。

15.2 救済の要求は、所定の審問要求書にその旨を記入し、自艇のフィニッシュ後(リタイア艇については、リタイア後)1 時間以内にレース本部にメールにて提出すること。提出はメール送信或いは持参のいずれでも構わない。

15.3 審問は原則、対面で開催されるがリモート会議ツールによる参加も可能とする。

開始の時間、場所、会議 URL については公式掲示板(WEB)に掲示される。加えて、必要に応じて当事者に電話連絡する場合がある。

16. レースの成立

各クラスのトップ艇のタイムリミット内でのフィニッシュをもって成立とする。

17. 失格に代わる罰則

RRS 第 2 章以外の規則違反を起こした艇に対し、プロテスト委員会は失格または適当と判断されるペナルティーを課すことがある。

RRS 44.1 を変更し、『2 回転ペナルティー』を『1 回転ペナルティー』に置き換える。

18. 成績

レース公示 13 項のレーティングにより所要時間を修正して順位を決定する。

19. レースの中止

悪天候などやむを得ない事情により事前にレース中止とする場合には、レース委員会の判断により、公式掲示板に通告する。

レース中止の場合でもパーティーを開催する。

20. 出艇申告・帰着申告

①エントリー受付を持って出艇申告とする。

②乗員の変更はレース当日の 08:00 まで E-Mail にてレース本部に提出すること。

③帰着申告はフィニッシュを持って帰着申告とする。

④出艇しない艇、フィニッシュしなかった艇は、必ず艇の責任者が直接レース本部に連絡すること。第三者への伝言委託しないこと。

連絡がない場合には、レース委員会から海上保安庁に緊急要請することがある。

21. 運営に用いる船

本部船および運営艇はうらり旗（白色）を掲揚する。

本部船：33ft モータークルーザー、船体色：白/ゴールド色（船体に艇名記載無し）

運営艇：「プリンセス」 インフレータブル、船体色：グレー（船体に艇名記載無し）

22. ゴミの処分

レース参加者は、故意にゴミを投棄してはならない。

これは、セールをセットするときのゴム又は毛糸のバンドも含む。

23. リスク・ステートメント

レースはスポーツマンシップの精神をもって行わなければならない。特に外洋レースは、主催者やレース委員会が直接管理できない水域において行われるレースであるため、艇および乗員の安全を図り、併せてシーマンシップとフェアプレーの精神を生かすのは、艇長および乗組員自身である。

①本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。

②参加艇や乗組員の事故（死亡、傷害、沈没、破損等）および第三者に与えた損害については主催、共催、協力の各団体等は如何なる責任も負わない。

③艇と乗組員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは、所有艇が十分に艤装され、かつ、必要な耐航性を保ち、荒天の海にも適した経験豊かなクルーを乗り込ませる様にしなければならない。オーナーは、船体、スパー、リギン、セールおよび全ての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それ等の使用法と置場所を乗組員に熟知させておかなければならない

④乗組員は、自己の責任に於いて自身の安全を確保し、落水等のないよう努め、かつ、艇と乗組員の安全の確保に努めなければならない。

⑤何れの艇に乗るか、またレースに参加するか否かは全て各乗組員の責任のみで決定される。

⑥レース艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かは、全て各艇の責任のみで決定される。

24. 問い合わせ先

24.1 問い合わせ方法

①E-mail のみでの対応とする。

②問い合わせ・質問を行う場合、艇名・質問者氏名・日付を明記し、出来るだけ箇条書きで行うこと。

※問い合わせ・質問の内容と回答は各艇連絡責任者に、Eメールにて開示することがある。

24.2 問い合わせ先

① 質問 受付：E-mail：urari-cup@misaki-ocean.jp

② 回答 WEB サイト：<https://www.jsaf.or.jp/misaki/2025/index.html#ura>

24.3 レース当日の連絡先

レース本部：090-2341-3140

乗員変更等メール送付先：urari-cup@misaki-ocean.jp

—以上—

うらりカップ城ヶ島ヨットレース

レース委員会

参 考

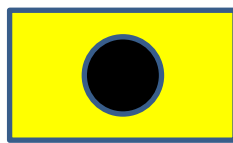
レースに用いる主な旗（但し、記載以外の旗も用いることがあります）



P 旗
準備信号



第一代表旗
ゼネラルリコール



I 旗
準備信号
ラウンドアンエンド



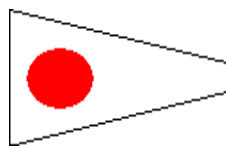
X 旗
リコールあり



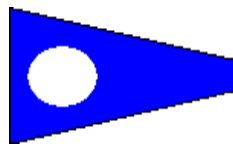
L 旗
声の届く範囲に來い



回答旗
延期
(降下 1 分後準備信号掲揚)



数字旗 1
コース 1



数字旗 2
コース 2



S 旗
コース短縮